

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2023 年度第 3 回事業普及委員会議事録

- I. 日 時： 令和 5 年 7 月 26 日（水）18：00～20：00
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoom によるオンライン会議）
- II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、歌代委員、向殿担当理事(すべてネット出席)
(事務局：井端事務局長、中村)

III. 検討内容

1. 2023 年度機関誌 No. 2（9 月号）の企画について

① 巻頭言は、武庫川女子大学に依頼することにした。

② 「生成系 AI」は、圧倒的に利用価値があるとして社会に大きな変化をもたらそうとしているが、他方、真理の探究を標榜する大学では、エビデンスを用いて批判的に思考し、合理的な判断の中で問題発見・課題解決を考え出す学びや、独創的かつインパクトのあるモノづくりなどを目指す教育において、生成系 AI をどのように受け止めていけばいいのかの対応を迫られている。No. 2（9 月号）では、特集「生成系 AI への対応」として、文部科学省における教学面の取扱いなどをはじめ、学生が AI 社会の中で主体的に活動していけるよう、生成系 AI を使いこなすための授業の在り方、情報源の信憑性や著作権侵害などを点検する AI リテラシー教育への対応、成績評価の在り方など、大学教育に大きな変革が迫られていることの重大さを取り上げることとした。

掲載依頼は以下とし、依頼先の承諾を得て掲載することを確認した。

- ・「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて(周知)」の経緯と取扱いの観点
文部科学省高等教育局専門教育課
- ・進化を続ける AI と人間 どう向き合えばいいのか
国立情報学研究所教授 佐藤一郎 氏
- ・生成 AI の到来にどう向き合うか
東京大学副学長 太田邦史 氏
- ・「自分の頭で考える」ための ChatGPT (仮題)
東洋大学情報連携学部学部長 坂村 健 氏
- ・ChatGPT で英語教育はどう変わる
京都大学准教授 金丸敏行 氏
- ・ChatGPT 活用と著作権侵害への注意点(仮題)
京都産業大学法学部教授 高島英弘 氏
- ・ChatGPT と人間の違いを英訳を通じて学ぶ(仮題)
立命館大学生命科学部教授 山中 司 氏
- ・「生成系 AI 使用ガイドライン」と参考資料(学生の視点でどのように向き合うか)
私立大学情報教育協会

③ これまで令和 4 年度の「認定教育プログラム+(プラス)」7 件の内、大学 6 件の取組みについて大学に協力を依頼し、提供いただいた教育実践などの取組みを（「その 4」、「その 5」）として紹介したが、引き続き令和 4 年度に初認定の「認定教育プログラム(応用基礎レベル) プラス」の取組みについて、（「その 1」、「その 2」）として以下の依頼先の承諾を得て掲載することにした。

大学単位

- ・電気通信大学
「電気通信大学における実践型 UEC データサイエンティスト養成プログラム」(仮題)
- ・早稲田大学
早稲田大学における全学データ科学教育プログラム

学部単位

- ・滋賀大学 データサイエンス学部
滋賀大学データサイエンス学部の企業連携と数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(応用基礎レベル+)について
- ・長崎大学 情報データ科学部
長崎大学情報データ科学部における数理・データサイエンス・AI 教育

④「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。

- ・2024年度(令和6年度)文部科学省概算要求に対する情報関係補助金予算の要望
- ・公益社団法人私立大学情報教育協会とは
- ・令和5年度行事日程・加盟校の特典
- ・2023年度私情協 教育イノベーション大会オンライン開催要項
- ・2023年度 短期大学教育改革 ICT 戦略会議オンライン開催要項

⑤「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。

- ・私立大学教員授業改善白書（令和3年度の調査結果）抜粋

⑥「募集」は、以下を掲載することを確認した。

- ・教育事例等コンテンツオンデマンド配信案内

⑦「投稿」は、以下を掲載することを確認した。以下を掲載することを確認した。

- ・早稲田大学社会科学部「ソーシャルイノベーション・アクセラレートプログラム」のカリキュラム改革と効果検証手法

2. その他（次回の日程について）

今回は2023年度No.2（9月号）の原稿の確認を中心に検討することとし、開催日時は、9月12日（火）18時より、引き続きネット（ZOOM会議）にて開催することを確認した。